

# あ山ながる るなき城の

歴史トレッキングガイド

## しおざき 塩崎城跡 トレッキング

おおとう  
大塔合戦の舞台

城跡  
標高569m

S → G 約50分コース

S 長谷寺観音堂  
お参りをしてスタート!

西国三十三観音石仏

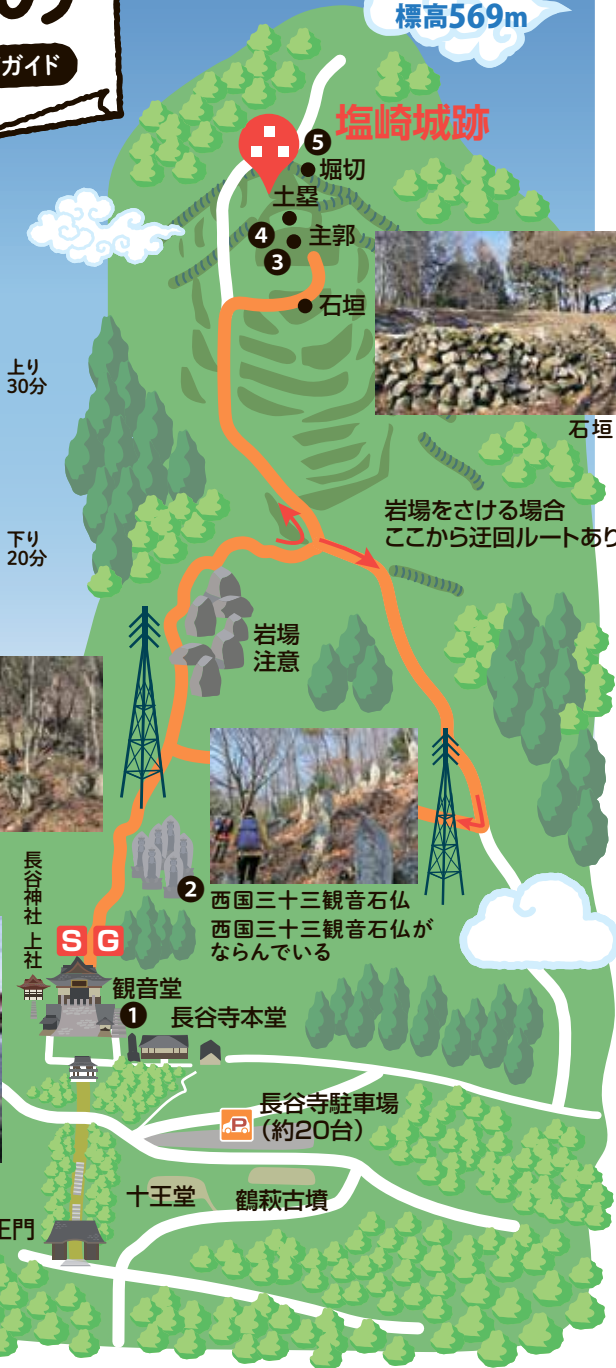
岩場

分岐

塩崎城跡

分岐

G 長谷寺観音堂



①長谷寺観音堂 ▶築300年という立派なお堂。



②西国三十三観音石仏 ▶山道脇に石仏が並ぶ。



③主郭 ▶段郭の様子がよく分かる。



④土塁 ▶主郭の背後にあり、櫓が築かれたという説がある。



⑤堀切 ▶尾根を遮断して堅堀に連続している。



眺望(三十三観音石仏上から)



塩崎城について

長谷寺の裏山の地形を活かした天然の要害。小笠原氏の一族・赤沢氏の居城で、室町時代初期の「大塔合戦」の舞台の一つとして知られるほか、川中島の戦いの際には、武田方の拠点として重要視された。東西25m、南北32mの主郭を中心に、尾根上に段々に築かれた郭、石垣、土塁などを見ることができる。



大塔合戦について

室町時代・応永7年(1400)、善光寺平を舞台に起きた戦い。幕府から信濃国守護としてやってきた小笠原長秀は、その権威を誇示しようと高圧的な政治を行った。それに反感を持った信濃の国人衆は、守護に対して反旗を翻した(大文字一揆)。国人衆の攻撃で傷を負った小笠原長秀は、塩崎城に逃げ込むも大敗し、佐久の大井氏の仲介により辛くも京に逃げ延びた。

### アクセスマップ



ながの山城あるき  
トレッキングガイド  
WEBサイトはこちら

